

令和5年度地盤工学会関西支部 支部賞受賞者

受賞者名	受賞者所属	業績名	賞の名称	受賞理由
<p>Lindung Zalbuin Mase Suched Likitlersuang 上田 恭平 飛田 哲男</p>	<p>University of Bengkulu, Bengkulu, Indonesia Chulalongkorn University, Thailand 京都大学防災研究所 関西大学</p>	<p>Liquefaction analysis of Izumio sands under variation of ground motions during strong earthquake in Osaka, Japan</p>	<p>学術賞</p>	<p>本業績は、大阪市泉尾地区における地盤の液状化の可能性について、有効応力解析ならびに液状化安全率によって詳細に検討したものである。特筆すべき点は、ある地点の液状化判定を行うために数値解析法を組み込んだ一連の統合的な液状化判定のフレームワークを提案している点にあり、これまでの設計実務では液状化安全率による簡易手法により影響化判定を行うことが多かったが、本業績では簡易手法に1次元有効応力解析法を適切に導入することで、より高い信頼性を担保できる液状化判定法が構築できることを示した。液状化判定の実務のあり方をより数理的な手法への転換を示している点で先駆的であると思われるため、学術賞としてふさわしいと判断した。</p>
<p>納庄 一希</p>	<p>東洋建設株式会社</p>	<p>管理型海面処分場へのCO2固定に関する研究</p>	<p>学術奨励賞</p>	<p>本業績は、海域に建設される管理型最終処分場の早期安定化対策について、埋立中から埋立後までの過程において、処分場内の保有水や埋立地盤に大気または排出CO2を用いた中性化工法を提案するものである。室内実験だけでなく、実際の最終処分場を対象とする研究も行っており、最終処分場の早期安定化とCO2固定の両立を目指すものであり、最終処分場が逼迫する状況の中、今後更なる研究の発展を期待して学術奨励賞に選定した。</p>
<p>竹内信 鳥居宣之 吉田翔太 吉田美夢 清水葉平 橋本康平 石谷貴英</p>	<p>公益財団法人滋賀県建設技術センター 神戸市立工業高等専門学校 株式会社大翔 株式会社大翔 日本工営株式会社 公益財団法人滋賀県建設技術センター 公益財団法人滋賀県建設技術センター</p>	<p>3次元計測技術およびデジタルツインを活用した斜面对策工の施工管理におけるDXの提案</p>	<p>地盤技術賞</p>	<p>本業績は、斜面对策工の施工管理に適用可能な3次元計測技術、出来形自動算出技術、および3次元モデルによる設計照査技術を産・学・官が連携して技術開発に取り組んだものである。斜面对策工は作業内容が複雑で自動化や機械化が進まない状況であり、人材不足に悩む地方の建設業界において、地方自治体が積極的にDXに取り込み、実務に携わる建設業者も利用しやすい技術を提案しており、地方自治体におけるDXを進めるだけでなく、若手や女性技術者の更なる活躍なども期待できる取り組みであると考え、地盤技術賞に選定した。</p>
<p>大島 昭彦 坂口 雄人 岡田 広久 塩崎 一樹 佐々木 徹 島 一郎 平原 毅</p>	<p>大阪公立大学都市科学・防災研究センター 株式会社大林組 大阪公立大学大学院 大阪公立大学大学院 株式会社大林組 株式会社大林組 株式会社大林組</p>	<p>夢洲2区(万博用地)の計画標高を満足させる盛土量と浚渫粘土層の沈下予測</p>	<p>社会貢献賞</p>	<p>本業績は、2025年4月開催の大阪・関西万博の敷地となっている夢洲2区の浚渫粘土層を対象に、2022年7月に新たに設定された敷地の計画標高を満足する追加盛土量および将来沈下量の予測結果を示したものである。非常に不均一な地盤工学特性を持つ浚渫粘土の沈下を夢洲2区の広域にわたって非常に高い精度で予測する手法を提案し、またそれにより大阪・関西万博開催期間中に所定の計画標高を確保しつつ、敷地の不同沈下を防ぐ手法を提案するものであり、地盤工学が社会に貢献できる取り組みであると考え、社会貢献賞に選定した。</p>